

景況、18期連続プラス

県内景況天気図

※景況天気は売り上げDI・採算水準DI・資金繰りDIの平均値

業種	2016年				2017年			
	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 前回実績	7~9月期 前回見通し	7~9月期 今回実績	10~12月期 今回見通し
全業種(除-批)	12.8	12.1	15.3	17.0	21.8	19.0	26.4	23.2
製造業	8.7	2.6	7.3	▲0.5	18.8	22.6	24.9	27.5
建設業	7.6	6.2	16.4	19.9	21.5	7.7	11.3	5.1
卸売業	17.5	17.1	27.8	30.0	33.3	30.8	45.5	33.3
小売業	21.7	25.2	20.3	27.0	19.4	20.1	32.6	27.5
運輸業	3.9	4.9	2.9	8.8	22.2	16.2	30.2	35.4
情報通信業	7.4	▲15.8	▲11.7	11.7	▲7.4	3.7	11.1	20.4
サービス業	9.5	6.7	18.0	19.0	20.1	15.3	15.9	18.1
飲食店・宿泊業	34.7	60.5	42.0	29.2	42.1	42.1	51.4	27.8

☀️ 快晴…30以上~100以下 ☀️ 晴…10以上~30未満 ☁️ 薄曇り…▲5以上~10未満
 ☁️ 曇り…▲30以上~▲5未満 ☔ 雨…▲100以上~▲30未満 (単位: %ポイント)

7月~9月 沖繩公庫 人手不足、過去最高

沖繩振興開発金融公庫 (川上好久理事長) は13日、7~9月期の県内企業景況調査結果を発表した。前年同期に比べて景況が「好転」したと答えた企業は県内景況は「拡大してい

る」としている。一方で人手不足を示す数値は過去最高となっている。入域観光客の増加に伴って観光関連産業が好調で、業種別では飲食店・宿泊業がプラス50・0、小売業が同21・7となった。個人消費が堅調なことから、卸売業は同36・6。公共工事、民間工事ともに需要があることから建設業は同16・9だった。情報通信業はマイナス11・1となったが、システム受注の増加などから、マイナス幅は前回(4月~6月期)より縮小した。人員が「不足」と答えた企業から「過剰」と答えた企業を引いた割合を示す雇用判断DIはプラス50・7で、過去最高の数値を記録した。業種別では飲食店・宿泊業が同87・5と最も高く、次いでサービス業が同71・7、運輸業が62・5となった。建設業も同52・3と高く、今後の売り上げや資金繰りに影響が出るとの見通しもあった。調査は365社を対象に実施し、339社から回答を得た。

景況18期連続プラス

沖縄公庫 人手不足顕著に

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）が13日発表した7～9月期の県内企業景況調査は、前年同期に比べ業況が「好転」したと答えた企業の割合から「悪化」の割合を引いた業況判断DIは19・2となった。18期連続のプラスで、2桁台は2期連続。一方、従業員が「不足」しているから「過剰」を引いた雇用判断DIは50・7で過去最高。好

況感が増す中で人手不足が顕著になっている。

業況DIを業種別で見ると、好調な観光需要や個人消費の伸びなどを受け、飲食店

・宿泊業が50・0、卸売業36・6、小売業21・7で、需要が旺盛な建設業も16・9。情報通信業はマイナス11・1だったが、前回の4～6月期よりマイナス幅が縮小した。

雇用判断DIの業種別で



は、飲食店・宿泊業87・5が最も高く、次いでサービス業71・7、運輸業62・5と続いた。建設業も52・3と不足感が拡大した。

10～12月期の業況DIは18・3を見込む。人手不足の影響は続くが、観光や建設関連を中心に高水準を維持する見込み。